



**最大の削減率は食費
だが、家庭食の質を維持したい層も健在
次の標的は水道光熱費**

生活防衛上、家計を引き締めているかと尋ねると、83%がイエスの答え。
この1年で一番減らした費目は食費(24%)。次いで衣料費21%、保険費12%、水道光熱費、
教養娯楽費の順。年代別に見ると、若い人ほど食費を減らし、年を重ねると衣料費を減らして
いた。
家計簿をつけているのは67%、3人に2人はつけていることになる。
実行率は年とともに減少し、若いほどまめに記録しているが、50代以上では半数以下になる。

**20代は通信費
50代は交際費を減らしたい**

これから減らしたい項目の筆頭は、水道光熱費。次に食費が挙げられ、3番目には通信費。
この結果からみると、家電製品は省エネ、つまり電気代節減型がますます求められることにな
る。
年代別では、20代が減らしたいのは食費に通信費、30代は水道光熱費、40代は水道光熱
費と通信費、50代は交際費が主対象になっている。

では一番引き締めたくないのは何だろうか。トップが食費。現に最も削減しているし、減らし
たいと思っている主婦が多いのだが、一方、食事の質は落とさたくないという主婦もかなりい
るということだ。食への態度が二極化しているともいえよう。
2番目が教育費、3番目に教養娯楽費が登場する。50代以上では引き締めたくない費目で
教養娯楽が目立ち、子育てが終わった後は、楽しみにお金を投じたい意向がよく見える。

調査概要

リビング新聞2002年5月11日、18日付紙面掲載アンケート(首都圏5エリア)。321通回収の
中からプロフィールの確かな270通を抽出、集計
年齢構成 20代20.0%、30代40.4%、40代19.3%、50代以上20.3%
職業 主婦専業62.6%、パートタイム勤務21.1%、フルタイム勤務14.1%、自由・自営2.2%
住所 東京23区内50.1%、東京都下28.9%、神奈川県4.4%、千葉県14.4%、埼玉県2.2%

これから減らしたい費目(%)

N=265



<調査項目>

- 1.家計を引き締めているか (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 2.1年前との比較で減らしている費目 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 3.一番減らした費目 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 4.今後減らしたい費目 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 5.一番減らしたくない費目 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 6.家族の協力度 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 7.工夫していること (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 8.最も大きな不安 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 9.家計管理の仕方 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)
- 10.世帯の収入源 (年代別)(世帯の収入源別)(家計管理の仕方別)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。
あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信してい
ます。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430